

2020年3月31日
株式会社三菱UFJ銀行

アサヒホールディングス株式会社で「グリーン私募債」第1号案件成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 三毛 兼承^{みけ かねつぐ}、以下 当行）は、アサヒホールディングス株式会社（代表取締役会長 寺山 満春^{てらやま みつはる}、以下 アサヒHD）より弊行総額引受私募債の組成依頼を受け、グリーンボンド原則に基づく資金使途（省エネルギー・汚染防止に資する焼却炉新設・更新）として、グリーン私募債を成約致しました。

本資金使途における設備資金は、株式会社格付投資情報センターより、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされ、グリーンボンド原則が定める資金使途・プロジェクトの評価と選定プロセス・調達資金の管理・レポート・発行体の環境活動の第三者認証も取得し、最上位の「GA1」の評価を受けています。また、今回のグリーン私募債発行に関する認証費用及び三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社のグリーンコンサルティング費用につきまして、環境省からの補助金認可¹を受けています。

アサヒHDは、今後更に地球環境改善に貢献できるニーズを探し、これに対応する技術・製品・サービスの開発に努め、「エコビジネスのリーディングカンパニー」を目指しております。

【アサヒHDのSDGs重点テーマ】

1. 貴金属リサイクルの拡大

限られた地球資源をより一層有効に活用するために、貴金属リサイクルをグローバルに拡大・推進します。

2. 人・社会・環境にやさしい貴金属供給

紛争鉱物を含まない原材料や貴金属含有スクラップから生産される人権や環境に配慮した貴金属製品の供給によって、持続可能な社会の発展に貢献します。

3. 廃棄物リサイクルの拡大

廃棄物処理のエキスペートとして廃棄物リサイクルの拡大に努め、持続可能な循環型社会の実現に取り組みます。

4. CO2排出量の削減

各拠点での省エネ活動や次世代カーへの切替え、CO2低排出電力プランへの切替え等を通じて、グループ全体でCO2排出量の削減に取り組みます。

5. 人材活躍の基盤充実

働き方改革・健康経営・タイバーシティ推進等により、多様な人材が活躍できる基盤を充実させて、働きがいの向上に努めます。

6. SDGs活動の奨励・支援

個人・グループによるボランティア活動等、本業以外でSDGsに貢献する活動を「アサヒホールディングスSDGs活動」として奨励・支援します。

当行は、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現するため、2019年8月にサステナブルビジネス室を設立しました。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、事業を通じた環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

株式会社格付投資情報センターのプレスリリースは以下リンクをご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/greenfinance/index.html>

[1] 環境省／グリーンボンド発行促進体制整備支援事業（補助事業）：グリーンボンドを発行しようとする企業や自治体などに対して、外部レビューの付与、グリーンボンドフレームワーク整備のコンサルティング等により支援を行う発行支援者に対して、その支援に要する費用を補助

以 上